

活動報告

「ごみ屋敷」問題に対応する条例制定に向けた取り組み

悪臭や害虫が発生し、近隣住民の健康にも影響を及ぼすなど日本全国で課題となっている「ごみ屋敷」、静岡市内でも相談や苦情が後を絶たず、その対応が求められています。そこで自民党市議団として、「良好な市民生活環境を守るための支援及び措置に関する条例」という名称での素案をまとめ、2022年度中の制定をめざして取り組んでいきます。



静岡型「災害総合情報サイト」への提言

現在静岡市で進めている静岡型「災害時総合情報サイト」に対し、その構築ならびに運用にあたっては、「市民が結び情報ネットワーク」「デジタル技術が支えるシステム」の二つの視点を盛り込んだ双方向型システムをめざすよう提言しました。具体的には「市民レポーター」を市内に配置し、発生した場所や被害の種類、状況、時間などを、SNSを活用して送信してもらい、人工知能(AI)が集約、整理し「災害総合情報サイト」に反映させるというものです。いつ起こるかかわからない災害に備え、一刻も早くこのシステムが運用されるように具体的な案を提示し、推進してまいります。

コロナ関連TOPICS 3回目のワクチン接種が始まっています

昨年末の医療従事者を皮切りに、1月末からは高齢者を中心とした市民向けの3回目のワクチン接種が本格的にスタートしました。この3回目接種は2回目の接種日から6ヶ月空ける必要がありますが、3月以降の接種券は2回目接種日から6ヶ月経過を以て皆様のお手元に届きますので、接種券が届き次第予約手続きをしていただくことができます。これまでと同様、約300の医療機関や集団接種会場で接種することができます。予約手続きも、スムーズな予約受付のためのコールセンターの人員強化や予約専用番号の新設や予約支援会場の拡充を図るなど、接種を希望する方がストレスなく予約、そして接種ができるよう、これまでと比べて改善が図られています。

令和4年度は予算ベース約29億円で、接種費用や接種会場の運営に要する経費、円滑な接種に向けた工夫のほか、高齢者の移動を支援する「らくタク事業」や中山間地域での巡回接種、そして、職域接種に必要な経費も含まれます。その他に、1・2回目の接種機会も継続的に設けられますので、接種がお済みでない方はぜひ接種をご検討ください。

①3回目接種スケジュールについて

3月上旬以降、対象となる全ての方が2回目接種から6カ月経過後に速やかに接種できるよう、接種券を交付します。接種券が届き次第、予約可能です。

対象者	令和3年 12月～	令和4年 2月～	令和4年 3月～
医療従事者等や 高齢者施設等の入所者等		6か月	
高齢者(65歳以上の方)	8か月	7か月	6か月
64歳以下の方	8か月	8か月	6か月

②接種券発送スケジュールについて

接種が可能になる方に対して順番に接種券を交付しています。2回目接種を令和3年10月7日までに完了した方に対して接種券の交付は完了しています(3月31日時点)。4月以降は1・2回程度の頻度で交付を予定しています。

	2回目の接種日(18歳以上)	発送規模(件数)	配達時期
1	令和3年10月8日～10月28日	約773千	4月13日(水)以降
2	令和3年10月29日～11月12日	約5万1千	4月27日(水)以降
3	令和3年11月13日以降	5月以降：2回目程度の発送を予定	

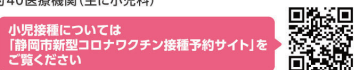
◆感染予防対策の徹底をお願いします

ワクチン接種は、発症や重症化予防に効果があり、他の予防対策と重ねることで更に効果が高まります。自分が感染しない・周りに感染させないため、接種券が届いたらすぐの予約をおすすめします。ワクチン接種完了後も、感染リスクはあります。引き続き、感染拡大防止に向けた取り組みへの、ご理解とご協力をお願いします。

③小児接種について

小児接種ははじまりました。5歳から11歳の児童を対象とした「小児接種」ですが、3月中旬から開始する小児接種は保護者の方の同意、そして接種の際には同伴が必要なことから、ご理解とご協力が必要不可欠となります。このため、最新の情報を正確にお伝えするべく取組みを進めており、情報提供が皆さんの不安解消につながり、接種の判断材料としていただけるよう議会としても当局と連携し情報発信に努めてまいります。

項目	内容
1.対象者	約4万人＝5歳以上11歳以下の方
2.回数・間隔	3週間の間隔を置いて2回接種 ※1・2回目は同じワクチンを接種することから、1回目に小児用ワクチンを接種した場合、2回目の接種までに誕生日を迎え、12歳となった場合も小児用ワクチンの接種となります。
3.接種券	初回送付(約3万8千人)：2月28日(月) ※今年度年長～小学5年生と、令和4年2月までに5歳になる児童に一斉送付します。 ※今年度小学6年生の児童には接種券を発送予定です。 ※今後5歳になる児童(約2千人)には誕生日の翌月上旬に配達予定です。
4.予約	予約開始：2月28日(月)8:30～ 予約方法：予約サイト・コールセンター ※2回目接種時に12歳になる児童の予約は「コールセンターのみ」となります。
5.接種開始	小児第1クール：3月12日(土)～ ・接種規模：約7,500人 ・1回目接種：3月12日(土)～4月1日(金) ・2回目接種：4月2日(土)～4月22日(金) ※約300人分のワクチンが2月末に先行供給されることから、3月上旬から、病院・施設に入居・入所中の児童を対象とした接種を開始しました。
6.会場	市内約40医療機関(主に小児科)

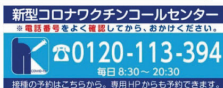


詳しくは、市ホームページをご覧ください

静岡市 コロナワクチン

検索

読み取りはコチラ



自由民主党 静岡市議会議員団

市政報告

令和4年3月
2022.03

自由民主党 静岡市議会議員団 〒420-0853 静岡市葵区追手町5-1 自民党市議団控室内 電話/FAX054-252-0543



Afterコロナを見据えながら 笑顔あふれる安心で安全な静岡市に向けて

月日が経つのは本当に早いもので、皆さまのおかげで市政に携わらせていただけるようになった3月28日から、早や1年を迎えようとしており、コロナ禍で迎えた二度目の新年からもあつという間に2ヶ月が経とうとしています。

オミクロン株の感染拡大など、いまだ予断を許さない状況にある新型コロナウイルス感染症、まだまだ厳しい経済状況等が続くことが予想され、ワクチン接種をはじめとしたコロナ対策が急務ですが、その一方でデジタル化や多様化といった、急速な社会の変化に対応することも今後の市政には強く求められています。

令和4年度当初予算の概要を掲載してありますが、with コロナから after コロナを見据えながら、一刻も早く笑顔あふれ、安心で安全な静岡市にするべく一つ一つの施策に全力で取り組んでまいりますので、今後とも引き続きご指導いただければ幸いです。

しらほま
静岡市議会議員 白浜 ふみのり

静岡市議会の常任委員会と特別委員会

本年度私は、総務委員会(常任委員会)そして、デジタル社会推進特別委員会(特別委員会)の委員として活動いたしました。静岡市議会には、所轄する事項ごとに、次の6つの常任委員会と特別委員会があります。議員はいずれかの委員会に所属し、所管案件を審議することとなります。

デジタル化を軸に防災・災害対策の強化や新型コロナウイルス感染症対策、行政手続等のオンライン化に伴う市民サービスの向上などの調査・研究を行ってまいりました。便利で暮らしやすいデジタル社会の実現に向けて、今後も尽力してまいります。

常任委員会

- 総務委員会**
市長公室、危機管理総室、総務局、企画局および財政局の所管に関する事項ならびに他の常任委員会の所管に属しない事項
- 市民環境教育委員会**
市民局、区役所および環境局ならびに教育委員会の所管に関する事項
- 厚生委員会**
保険福祉長寿局および子ども未来局の所管に関する事項
- 観光文化経済委員会**
観光交流文化局および経済局ならびに農業委員会の所管に関する事項
- 都市建設委員会**
都市局および建設局の所管に関する事項
- 企業消防委員会**
上下水道局および消防局の所管に関する事項



特別委員会

- デジタル社会推進特別委員会**
ICTを活用した市民の安全安心の確保や市民サービスの向上、行政の効率化等に係る調査および施策の推進に関する協議・討議・提言等を行う
★デジタル化に関する計画関連 ★危機管理関連 ★市民の利便性および行政の効率化関連
- 中山間地調査特別委員会**
新東名IC等を活用した中山間地の活性化ならびに地域振興策の調査および整備に関する協議・討議・提言等を行う
★定住および移住関連 ★産業振興関連 ★賑わい創出関連 ★環境創造関連
- まちづくり拠点調査特別委員会**
まちづくりの拠点となる施設の整備に関する協議・討議・提言等を行う
★静岡都心拠点整備関連 ★清水都心拠点整備関連 ★スポーツ施設整備およびスポーツ振興関連
★公共施設のアセットマネジメント(公共施設有効活用)に関すること
- 総合交通政策特別委員会**
交通弱者対応および交通網整備による地域活性化に向けて、各地域の実情に合わせた総合交通体系の在り方に関する協議・討議・提言等を行う
★バス路線関連 ★人にやさしい交通政策関連 ★自転車関連 ★新都市交通関連



令和4年度当初予算の概要

★予算規模

一般会計 3,378 億円 (対前年度 81 億円増 +2.5%)
 全会計 6,541 億円 (対前年度 10 億円減 △0.2%)

一般会計は
 過去最大の予算規模

★予算編成のポイント

- ◇「2つのLife」を守るため、感染防止対策の徹底と経済回復の実現に向けた取組に予算を重点配分
- ◇第3次総合計画の総仕上げとして、「5大構想」を着実に推進する取組を予算に反映
- ◇持続可能なまちを目指し、「経済社会変革」「防災・減災、国土強靱化」を推進する取組を予算に反映
- ⇒国の「16か月予算」の考え方と連動して、令和3年度2月補正予算と令和4年度当初予算を一体で編成

2つのLife [71.2億円]

R4 当初：53.2 億円、2月補正：18.0 億円

いのち Lifeを守る 53.9 億円

市民の安全・安心の確保 43.3 億円

- ・新型コロナウイルスワクチンの確実な接種
- ・検査費・入院費の助成、健康管理等の支援
- ・児童福祉施設等における衛生用品等の購入支援



2月補正 10.6 億円

- ・新型コロナウイルスワクチンの確実な接種
- ・新型コロナウイルス感染症対策を行う公的病院への支援
- ・福祉施設における設備改修に対する支援



くらし Lifeを取り戻そう 17.3 億円

地域経済の活性化と賑わいの創出 9.9 億円

- ・中小企業の機械設備導入等に対する支援
- ・安定的な市内産木材生産体制整備のための支援
- ・中小企業の円滑な資金調達のための支援



2月補正 7.4 億円

- ・イベント開催の回復と持続化の支援
- ・商店街団体等が実施する消費促進事業への支援
- ・デジタルスタンプラリーによるイベントと消費促進事業の連携



5大構想 55.2億円

世界に存在感を示す3つの都心づくり

①歴史文化の拠点づくり 13.4 億円

- ・歴史博物館の整備・運営 (R4.7 月オープン、R5.1 開館)
- ・「どうする家康」放送にあわせた大河ドラマ館の開設・運営
- ・駿府城公園の夜間景観整備によるナイトツーリズムの推進
- ・駿府城跡天守台における野外展示施設の整備推進
- ・駿府城公園水堀における美舟の運航と環境の改善



②教育文化の拠点づくり 2.2 億円

- ・「こ・こ」を通じたまちづくりを担う人材の養成
- ・市民に開かれた環境保険研究所の移転整備
- ・東静岡アート&スポーツ/ヒロバの運営
- ・賑わいのある草薙駅周辺エリアに向けたマネジメント支援
- ・JR草薙駅周辺の賑わいを創出する道路空間の再整備



④海洋文化の拠点づくり 9.8 億円

- ・(仮称)海洋・地球総合ミュージアムの整備推進
- ・新興津地区人工海浜・緑地における交流施設設備の調査
- ・清水駅東口周辺におけるペDESTリアンデッキの延伸整備
- ・海洋関連産業における新事業の創出支援
- ・清水庁舎の基本構想・基本計画の見直し



生活の質を高める2つの仕組づくり

③「まち劇場」の推進 6.7 億円

- ・静岡市民文化会館の再整備の推進
- ・春夏秋冬ごとにフェスティバルが楽しめるまちの推進
- ・オープンスペースを活用した公民共創によるまちなかの再生
- ・「模範の世界首都」に向けた環境・人材・コンテンツづくり
- ・「まちかどコンサート」の開催による音楽を通じたまちの活性化



⑤「健康長寿のまち」の推進 23.1 億円

- ・「かけこまち七間町」の活用と認知症ケアの推進
- ・市民後見人の養成等による成年後見制度の利用促進
- ・データを活用した後期高齢者に対するフレイル予防の推進
- ・「自宅ですっ」とを支える地域包括ケアシステムの推進
- ・静岡のブランド食材を使用したわくわく給食の提供



「世界に輝く静岡」の実現

¥ 経済社会変革 [13.8 億円]

R4 当初：9.6 億円、2月補正：4.2 億円

人口活力の維持 4.4 億円

- ・SDGs ユースサミットなど若者と企業・団体間の連携
- ・お試し体験事業など移住・移転の促進
- ・コ・クリエーションスペースにおける共創の場の提供



デジタル化の加速 6.9 億円

2.7 億円

- ・スマートシティビジョンの策定と推進主体の設立準備
- ・窓口・施設におけるキャッシュレス決済の導入



2月補正 4.2 億円

- ・マイナンバーカードを活用したオンライン手続きの推進

脱炭素社会の実現 2.5 億円

- ・再生可能エネルギーの地産地消に向けた取組への支援
- ・脱炭素化につながる技術革新や新商品開発に対する支援
- ・CO₂吸収効果の高い品種(エリートツリー・早生樹)の試験栽培



防災・減災、国土強靱化 [304.2 億円]

R4 当初：279.7 億円、2月補正：24.5 億円

防災・減災 7.0 億円

- ・「防災情報ポータルサイト」の構築
- ・同報無線デジタル化の整備推進
- ・消防団員の処遇改善と入団の促進

国土強靱化 297.2 億円

272.7 億円

- ・浸水対策推進プランに基づく河川改修・雨水幹線整備
- ・水道管・水道施設等の耐震化・老朽化対策
- ・道路・橋梁の維持管理・耐震化対策

2月補正 24.5 億円

- ・道路の新設改良等 ((主) 清水富士宮線ほか)

